



中泊と外泊地区に江戸時代から伝わるとされる郷土芸能「祝唄」を地元の子どもたちに継承しようと、中泊・外泊地区祝唄保存会（吉田千恵吉会長）が中泊集会所で学習会を開催しました。学習会には船越小学校の3～6年生18人が参加し、保存会のメンバーから祝唄の歴史や歌詞について教わりました。(6/16)



南レク馬瀬山公園の紫電改展示館で、町遺族会（和泉三千代会長）が主催する「平成27年度紫電改慰霊祭」が厳かに行われ、出席した関係者が黙とうや献花で戦没者の方々に追悼の気持ちを捧げました。(6/18)



四国最大規模を誇る南レクジャンボプールがオープンし、連日賑わっています。厳しい暑さが続く中、その暑さを忘れ、大勢の人が水しぶきを上げて楽しんでいました。(6/27～)



愛南町消防署で、「消防救助技術指導会 署内選考会」が実施され、ロープ応用登はんなどの種目で迅速かつ安全確実な救助技術を競いました。(6/29)（署内選考会で選出された隊員は、7月下旬に高松市で開催された「第44回消防救助技術四国地区指導会」に出場しました。）



城辺保育所の園児が城辺駐在所連絡協議会に協力してもらい完成させた、交通安全を祈願した七夕飾りを愛南警察署と愛南町役場本庁に贈りました。(7/7)



あんなことや、こんなこと

TOWN TALK

写真 5 写真 6

7/1 ~ ボールを遠くに投げよう

近年、平均値が下がり続けている県内小学生のソフトボール投げで、ボールの投げ方や遠くに投げるテクニックをレクチャーし小学生の記録向上をサポートしようと、四国アイランドリーグ plus「愛媛マンダリンパイレーツ」の所属選手などが城辺小学校で授業を行いました。ボール投げの授業は7月1日、7日、14日の3回にわたって行われ、以前読売ジャイアンツで主力投手として活躍した河原純一投手や愛媛マンダリンパイレーツの2014年度キャプテンの藤長賢司さん(同年10月に引退)が同校4年生を対象に、分かりやすく遠くに投げるためのコツなどを伝授しました。

児童は、新聞紙で作った紙鉄砲やタオルを使っでの投球フォーム作りを楽しそうに取り組み、最終日の記録測定では「投げる方向に対して横向きになる」、「足を上げて高い方向へ投げる」などのアドバイスを意識しながら、ソフトボールの遠投に挑戦しました。

本日!海日和!! vol.57 「ガラス細工」



アカホシカクレエビ

暑くなるとガラスの器の出番である。ガラスを見ると、無意識のうちに水を連想するのだろうか、涼やかな気分を味わうことができる。

海の中には、まるでガラスで作ったのではないかと思えるような生き物がある。写真のアカホシカクレエビもその仲間である。透明な体は、捕食者に見つからないようにするためだと思われるが、詳しいことは分からない。イソギンチャクを住まいにして、魚の皮膚についたゴミや寄生虫を取り除く、クリーニング・シュリンプとしても知られている。イソギンチャクの回りは、体を掃除してほしい魚たちでにぎわっている。

ガラス細工のように繊細で美しいエビだが、写真に撮ると、どこにいるのか分からない困った被写体でもある。ほどほどに見える写真を選んでみたが、どこにいるのか分かるかな？

(撮影地: 瀬の浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照

写真 4

7/11 優しい竹灯籠の灯りが町並み照らす

蓮乗寺地区の小西酒造周辺で、「街道灯籠祭り愛南 2015『酒蔵の道をゆく』」が開催されました。

17時30分頃には、ボランティアスタッフの皆さんによって作られた約350個の竹灯籠と松明に火が灯り、多くの家族連れが幻想的な灯籠の灯りと夏の風情を楽しみました。

また、築約150年の酒蔵内では、「酒蔵カフェ」で飲み物などの販売があったほか、地元グループによるフラダンスショーも行われました。



写真1
6/ **23 みんなで楽しく「えがお体操」**

愛顔つなぐえひめ国体実行委員会の「えがお体操キャラバン」が、東海小学校を訪問しました。えがお体操とは、愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会のイメージソング『えがおは君のためにある』に体操の振り付けをしたものです。

えがお体操を県内の小学校に広めるために実施された今回のキャラバンでは、東海小児童のほか、あいなん幼稚園の園児や地元住民の皆さんが、愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」や「なーしくん」と元気よく「えがお体操」で汗を流しました。

写真2
6/ **25 西アフリカで海外協力**

国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊員として、7月から西アフリカに位置するベナン共和国に派遣されている御荘平城出身の藤原美月さんが、出発を前に清水雅文町長を表敬訪問しました。

ベナンで小学校教育を担当する藤原さんは、「以前から憧れを持っていた海外で自分を試そうと思った。まず第一に、子どもたちに学ぶことが楽しい、学ぶことは大切だと思ってもらえる授業づくりに取り組みたい」と意欲十分に抱負を語りました。

写真3
7/ **5 プロ棋士と真剣対局**

将棋の実力を養うとともに、将棋を通して親睦を図ろうと、中浦公民館に愛媛県初の女流プロ棋士 山根ことみ女流初段(新田高校3年生)をお招きし、「あいなん将棋教室」を開催しました。

町内の将棋愛好家約30人が参加した将棋教室では、日本将棋連盟公認将棋指導員の児島有一郎5段による「級位認定」があったほか、山根ことみ女流初段が参加者にアドバイスを送りながら対局する「指導対局」などが行われました。